



2020年

みやま

第269号

病院理念

『患者さまの不安をとること』

当院の基本方針

「地域に根ざした安心できる医療」

「精神科医療の充実」

「老人医療」医療と福祉の結合

医療法人社団光生会 平川病院

本年の標語 『学びと感謝を常に忘れず 医療に対し誠実な病院 ～それが平川病院～』

〔ホームページ〕 <http://www.hirakawa.or.jp/> 〔e-mail〕 hhsp1966@violin.ocn.ne.jp



10月に開催された、作業療法科主催のバザーの様子（令和2年10月7日）

バザーの開催について

10月になって急に寒くなってきました。この寒さはなんと41年ぶりだといえます。そろそろ市内に冬物などの衣類を購入に出かけたいところですが、新型コロナの影響で、外出は他科受診や退院準備など必要最低限にさせていただきようご協力をいただいていますので、ご不便をおかけしているのが現状です。一方、三密を避けるため、院内のイベントも中止とさせていただいており、当院の秋の大イベントである「文化祭」も中止としました。文化祭では、例年、バザーを開催し、衣類などもここで調達される患者さんも多いと思いますが、これが今年はできなくなってしまいました。そこで、バザーの開催方法を変更し、各病棟でバザーを開催することにしました。9月末から、順番に各病棟を回っています。大したものではありませんが、少しは寒さをしのげる冬物の衣類を選んでいただければと思います。コロナで悪いことばかりのようにも思いますが、こうしたサービス向上のきっかけにもなるので、前向きにやっつけていこうと思います。どうか、コロナ明けまでご協力のほど、よろしくお願いいたします。

院長 平川 淳一

【表紙】 院長挨拶 【P2】 病棟たより（南3病棟） 【P3】 歯科から 【P4】 地域生活支援室より
【P5】 退院時アンケート推移 【P6】 診療情報管理士とは

こころと体、どちらも看られる看護師

南3病棟はこころのケアとともに身体管理やリハビリテーションを目的とした方々が入院する病棟です。加藤先生を中心として多職種が協同して患者様の治療にあたっています。私は今年の4月にこの病棟へ異動してきました。

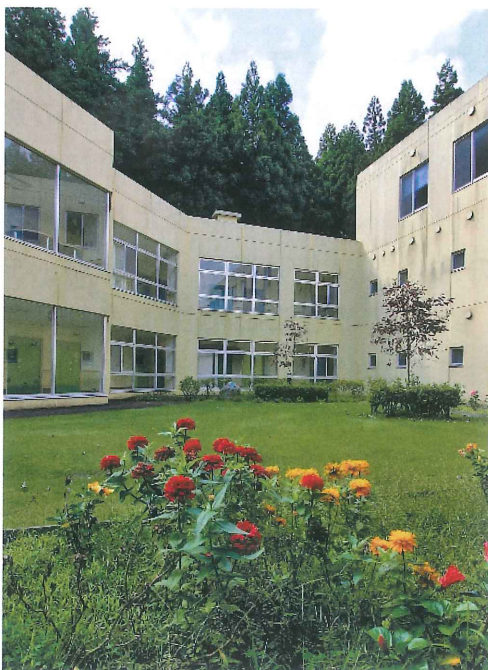
南館の特徴として、大きな中庭があります。南館の病室はこの中庭をぐるりと囲んで配置されていて、南3病棟は、この中庭を上から見下ろす形になっています。中庭には季節の花が植えてあり、毎日それを眺めながら仕事をしています。病室は全室個室で、患者様は庭を眺めたり、デイルームで皆でお話したり、自室で過ごしたり、思い思いの過ごし方をされています。

リハビリテーションを目的とした病棟なので、日中多くの患者様は病棟内外で忙しくリハビリテーションに励んでいます。リハビリテーションの合間や夜間帯などに、リラッ

クスした患者様からお話を伺うのが、私はとても好きです。患者様の発言から、思ってもいなかった本音や患者様自身の変化を発見することができるからです。南3病棟は身体管理やリハビリテーションなど、フィジカルな面を見る場所であると同時に、精神病棟であるためメンタルな面も、両方見る機会があります。どちらの変化も早めにキャッチしなければなりません。

平川病院は看護学生時代の実習病院でした。実習中、ある看護師さんが「こころと体、どちらも看られる看護師」という言葉を口にしていました。その言葉が心に残り、当院に入職した経緯があります。南3はまさに「こころと体」を看なければならない病棟です。まだ不慣れなことも多いですが、これからも精進して病棟に役に立てていければと思います。

南3病棟 看護師 森 慶



南館の中庭



南3病棟隣接のリハビリテーション室

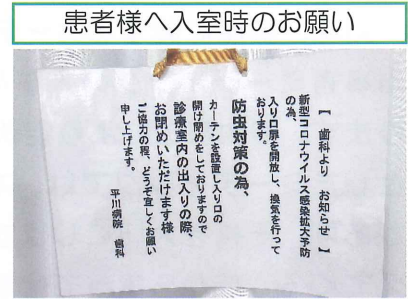
新型コロナウイルス感染拡大予防の取り組み

歯科から

新型コロナウイルス感染拡大予防に対する取り組みをご紹介します！

【受付と歯科室への出入り】

職員はフェースシールド・マスクを着用し、受付には保護フィルムシートを設置(左)。歯科入口は換気のため扉を常に開けていますが、防虫予防カーテンを設置(中・右)。



【充実した設備】

口腔外バキュームを2台設置しております。「フリーアーム・アルテオS」(左・右)と「CAPT-PLUS」(中)を駆使し、歯の切削やクリーニング、義歯の調整に出る切削粉塵を吸引します。



「フリーアーム・アルテオS」は診療終了後、空気清浄機としても活躍する非常に優れた機械です。

【器具の滅菌】

器具は個包装して滅菌しています(左・右)。小型高圧蒸気滅菌器に関するヨーロッパ規格EN13060に準拠した高性能な「クラスBオートクレーブLisa」(中)を使用しております。

個包装して



滅菌して



完成!



感染対策は万全です！皆さま、どうぞ安心してお越しください。

歯科室 歯科医師 伊藤 光代

当事者ミーティング「私にも言わせて」

地域生活支援室より

デイケアプログラムの一つとして注目されているものに当事者ミーティングがあります。当事者運動やミーティングは脳性麻痺や依存症の分野から始まり、今は精神障害や発達障害、ひきこもりやジェンダーにも活動が広がってきています。今回は精神科デイケアにおける取り組みの一端を紹介させていただきます。

1. 幻聴、妄想に関するミーティング

当事者ミーティングの大事な視点の一つに症状や障害と向き合う方法を見つけることがあります。薬物療法により症状を軽快することは大事な治療です。しかし幻聴や妄想をテーマとしたミーティングでは、本人から語られる内容にそれまでの人生が反映されていることがあり、それを大切にします。「病気で働けないことへの罪悪感をなぞるように悪口が聴こえてくる。だから焦って仕事探しをしてしまう。」そういった発言を共有すると、自分の願望やそれを実現できないことの焦燥感から自身を縛りつけてしまっていたという発見に至ることがあります。

2. 発達障害専門プログラム OB・OG 会

発達障害専門プログラムの修了者が就労等にステップアップした後、新しい環境で困っていることを共有しあえる場を作ろうと OB・OG 会を始めました。OB メンバーが現在プログラム参加メンバーに自身の就労体験を語る機会もありました。コミュニケーションに苦手意識はあっても、自分が体験していることを誰かに聴いてもらいたい、自分と似た体験をしている人の話を聴いてみたいと、交流を求めている方が沢山おられます。日常の中で体験している周囲とのギャップを分かち合える人がいる、という体験は大きな支えになるようです。

ミーティングの時間、スタッフのできることに耳を傾けること、一緒になって学ぶ姿勢でいること。そこで語られる内容を大切にしながら SST、認知機能トレーニング、発達障

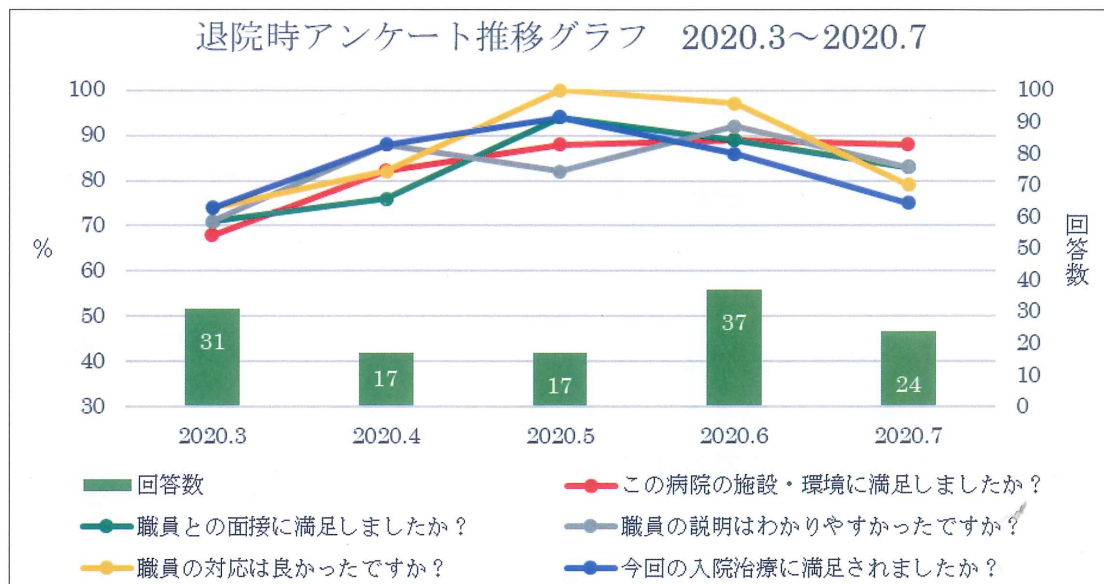


害専門プログラムといった問題解決型のプログラムと連動するよう働きかけることがデイケアスタッフの役割と考えています。行き詰まった状態から距離を置いて他人事のように複数名で眺めてみる。そして問題解決に取り組む主体性を取り戻していくという営みをデイケアでは毎日続けています。

地域生活支援科 デイケア科長 井出 学

退院時アンケート推移グラフ -2020.3~2020.7-

平川病院では、退院される患者さまにアンケートのご協力いただき、その集計結果を毎月検討しております。2018.9号、2019.3号、2019.9号、2020.5号の広報誌「みやま」へ掲載した続編として、「この病院の施設・環境に満足しましたか」「職員との面接に満足しましたか」「職員の説明はわかりやすかったですか」「職員の対応は良かったですか」「今回の入院治療に満足されました」の5項目（前回同様の項目）を抜粋し、データをグラフ化しました。



※折れ線グラフは、アンケートにて「はい」と回答いただいたパーセント、棒グラフは有効回答数を示します。

2018年11月より、委員会にて「回答数を増加させる」ことを再検討し、病棟中心に様々な取り組みを開始しました。回答数の平均は前月号33、今月号は25.2と回答数が減少しておりますが、ご回答いただきました患者さま・ご家族さまに御礼を申し上げます。引き続き、更なる「回答数を増加させる」を目指し取り組んでまいります。

上記グラフの推移を見ると、2020.6まで全体的に右肩上がりとなり、前回より若干高い回答をいただいています。「職員の説明はわかりやすかった」の回答がほぼ70%~90%を占め、「職員の対応は良かった」の回答は2020.5に100%の回答を頂くなど、高水準の%を維持しております。日頃より取り組んでいる職員の対応（接遇）等の質向上が実施された結果が表れ、一定のご評価を頂いたと職員一同感謝申し上げます。

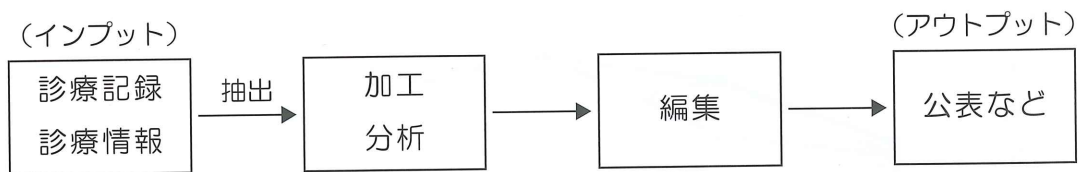
ただ、2020.7より、全体的にグラフの推移が低い評価となっております。今後のグラフ推移を確認しつつ、どのような改善が必要なのか検討し、高評価を頂けるよう努めてまいります。

今後も引き続き、医療についての説明と合意をより丁寧に行い、患者さまへ満足いただけるよう高度な医療提供を目指してまいります。何かございましたら、外来や病棟に設置しております意見箱に、是非、ご意見を頂戴いただければ幸いです。

診療情報管理士とは

「診療情報管理士」とは、四病院団体協議会（日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会）および医療研修推進団体の共同で認定された資格です。

主な業務は、日々記録されるデータ（診療記録、看護記録、検査データなど）を適切に管理し、そこに含まれている情報を活用することにより、医療の質の向上・安全管理、医療従事者の研究および教育、経営管理、社会貢献などに寄与する業務です。また、近年では、病院ホームページなどの普及により、当院の特徴や情報公開を促進する作業も行っております。



今後は地域の皆様また患者さまにより分かりやすく、当院の実績や活動内容などの情報を発信していく予定です。信頼のできる病院を目指し、業務に携わりたいと思っております。

医事課 情報係 係長 大西 秀樹



当院は南多摩医療圏の地域拠点型認知症疾患医療センターです

東京都では、平成24年に指定された「地域拠点型認知症疾患医療センター」12カ所（当院含む）と平成29年11月迄に指定されている「地域連携型認知症疾患医療センター」40カ所、合わせて52カ所の医療機関において、認知症の人とその家族が安心して暮らせる地域づくりを進めています。認知症に関するご質問がありましたら、各地域のセンターまでお問い合わせ下さい。尚、センター指定状況や役割の詳細等については、東京都公式ウェブサイト『とうきょう認知症ナビ』で確認いただけます。

[とうきょう認知症ナビ](#) 🔍 検索

編集後記

今年は、秋の訪れも早く10月1日は中秋の満月でした。Blue Moon、大気中の塵の影響により月が青く見える現象（珍です）。月の満ち欠けの月齢周期が平均29.5日である為、月の初めに満月になると、その月の終わりに再び満月が巡ってくる場合があります。それをDouble Moon「2度の満月」と呼び「とても稀なこと」を表すこととして“blue moon”と呼ばれるようになったとも。今月はもう1回（31日に）満月が楽しめます(^_^)

医療法人社団光生会 平川病院

東京都八王子市美山町1076

電話 042-651-3131

FAX 042-651-3133

編集 平川病院 広報委員会

ご意見ご感想はこちらへお願いします

kouhou@hhsp1966.jp

